

議題 1 令和 7 年度白井市男女平等推進行動計画進行管理と総括について

(1) 令和 7 年度の取組の評価について

■ 令和 7 年度の取組の評価基準

- ・ A : 当初の計画以上に実施できた。(数値目標の概ね 120%以上)
- ・ B : 当初の計画どおりに実施できた。
- ・ C : 当初の計画どおりには実施できなかった。
- ・ D : 実施できなかった。
- ・ Z : 評価なし(令和 7 年度に実施しないことが計画の段階で確定している事業や災害時にのみ実施する事業が行われなかった場合など)

■ 令和 7 年度評価

評価の項目	件数	割合
A 予定以上の実績を上げた事業	6 件	4.5 %
B 当初の予定通りであった事業	94 件	70.7 %
C 当初の予定通りの実績を上げられなかった事業	22 件	16.5 %
D 実績がなかった事業	6 件	4.5 %
Z 事業自体がない(廃止)	5 件	3.8 %
総事業数	133 件	100 %

■ 【C】 当初の予定通りの実績を上げられなかった事業

No.	事業名	評価の理由
2	各センターでの男女共同参画に関する講座の実施	センターへの情報提供は実施したものの講座の実施に至らず目標値に達しなかったが、工夫した講座を開催出来ているため
3	青少年女性センターでの男女共同参画事業の実施	目標値の参加人数に達しなかったため。
5	市民大学校における男女共同参画関連講座の実施	目標値の実施回数に達しなかったため。
12	人権教育・豊かな人間関係づくり実践プログラムの実施	ピアサポートに関しては、縮小傾向であったが、令和 7 年度から完全に実施しなくなったため。
30	親元同居・近居の推進	制度の PR により若い世代の移住・定住の促進に効果をあげているが、計画期間の累計件数で見ると目標件数に達していないため
41	高齢者及びその家族への相談支援の実施	目標値に達しなかったため。
44	介護支援ボランティア制度の運用	活動者数は増加傾向にあるが、目標値を上回る実績値が得られなかったため。
47	小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会の設立の推進及び運営の支援	目標値に達しなかったため。
48	自治組織との連携・支援	目標値に達しなかったため。

No.	事業名	評価の理由
49	市民団体との連携・支援	目標値に達しなかったため。
50	総合型地域スポーツクラブへの支援	実施計画に定める講師の派遣について計画通りにできなかったため。 また、目標値に達しなかったため。
54	ボランティアセンターの周知・利用促進	実施した講座のほかに災害に関する講座を予定していたが開催に至らなかった。
66	高齢者就労指導センターの活用	計画に基づき、高齢者就労に関する講習会を開催しているものの、目標値をやや下回ったため。
74	新規就農者への支援	目標値の人数に達しなかったため。
81	農業者年金への女性農業者や若い農業者の加入の促進	戸別訪問により1名の農業者年金加入につながったが、女性加入者はおらず目標値を達成できなかったため。
86	市政懇談会への多様な参加の促進	当初設定した指標である市政懇談会としては実施していないが、各種計画等の策定段階で意見交換会やワークショップ等を開催し、広く意見や提案を聴く機会を設けている。
87	DV防止のための啓発・窓口周知	① 実施できている。②目標値には達していないが、DVの未然防止や早期発見に資する講座を開催し、子育て世帯や支援者の参加が見られ、啓発が行えたため。
99	人権に関する啓発の実施	市民への人権啓発を適切に十分行っているが、人権教室開催校数が目標値に達しなかったため。
105	消防団員充実強化	募集を工夫して実施しているものの目標に達していないため。
114	外国人市民交流による相互理解の推進	昨年同様にダンス&ミュージックフェスティバルを開催。昨年度と同様な参加者数を維持できたが目標値は達成できなかったため。 国際交流祭りについては令和6年度より事業廃止。
122	男女共同参画地域推進員事業など、千葉県との連携	目標値に達しなかったため。
125	女性管理職の登用にに向けた研修の強化	予定通り実施したが目標値に達しなかったため。

■【D】 実績がなかった事業

No.	事業名	評価の理由
4	青少年女性センターとの連携	会場・講師が確保できず実施できなかったため。
6	なるほど行政講座の中で男女平等に関連する情報の提供	開催希望がなかったことから未実施のため。
36	男性料理教室の実施	未実施のため。
40	介護予防教室(認知予防教室)の実施	未実施のため。
121	男女平等に関する住民意識調査の実施	実施しなかったため。
130	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画及びその進捗状況の公表	R7 年度分については、計画の見直しに併せて進捗を把握したため、計画更新と併せて公表したが、年度内に公表が行えなかったため。

■【Z】 事業実態がない事業

No.	事業名	評価の理由
9	青少年国際交流の実施	未実施だったため
10	友好都市交流の実施	友好都市協定が破棄されたことにより、当初予定していた事業の実施が不可となった。
16	工業団地見学ツアーの実施	答申結果に基づき、実施しなかったため。
17	企業経営者による講演会の実施	答申結果に基づき、実施しなかったため。
51	スポーツ指導者の育成と参画促進	千葉県生涯スポーツ公認指導員の新規募集、千葉県地域スポーツ指導者研修会の開催が令和4年度で終了しているため。

参考

■【A】 予定以上の実績を上げた事業

No.	事業名	評価の理由
11	国際理解事業の実施	参加者数が対目標値 125%となり、目標を上回ったため。
93	家庭児童相談の実施	当初の計画より多くの活動ができたため。
94	障がい者虐待の予防・啓発	例年の市広報等による周知に加え、新たに基幹相談支援センターによる事業所向けの研修会の開催、各事業所への出張研修等、障害者虐待防止の周知啓発を3回行い、実施回数が大きく増えたため
98	障がい者虐待防止センターによる相談の実施	相談窓口を増やし、対応することができたため
110	健康相談	目標値を大きく上回ったため。
127	男性職員の育児休業取得の促進	予定通り実施し、目標値を大幅に上回ったため。

(2) 計画期間の取組の評価と総括について

■ 計画期間の取組の評価基準

- ・ A : 目標値を達成 ⇒ コロナなどやむを得ず実施できない年度を除きすべてで目標を達成した
- ・ B : 概ね達成 ⇒ 数値目標を達成できた年が3年以上あった。
- ・ C : 一部達成 ⇒ 数値目標を達成できた年が1年以上あった。
- ・ D : 未達成 ⇒ 計画期間すべての年で数値目標を達成できなかった。

■ 計画期間の評価

評価の項目	件数	割合
A 目標値を達成	88件	66.2%
B 概ね達成	22件	16.5%
C 一部達成	8件	6.0%
D 未達成	15件	11.3%
総事業数	133件	100%

■ 【C】一部達成の事業

No.	事業名	評価の理由
2	各センターでの男女共同参画に関する講座の実施	工夫した講座を開催出来ていたが、数値目標達成が2年となったため。
24	ママヘルプサービスの実施	数値目標達成が2年のためCとしたが、ママヘルパーの需要が毎年一定でないため数値目標のみで事業の効果を測ることは難しい。 男性の育児休業取得者が年々増加してきており、育児・家事への参画の促進に繋がっていると考えられるため、支援者のいない家庭へ支援を行うママヘルプサービスの需要の低下が目標を達成できなかった要因として推測される。 なお、希望家庭にはヘルパーを派遣し、家事や育児の支援を行い、産後の負担軽減を図ることはできた。
36	男性料理教室の実施	目的を達成するため、教室形式を廃止し、他の手法で工夫して実施したものの、数値目標達成が1年のみとなったため。
40	介護予防教室(認知予防教室)の実施	計画期間中に事業を実施しなかったが、数値目標を2年達成したため。
49	市民団体との連携・支援	補助金の交付や団体同士の交流の場を設けたことで、公益活動の活性化と地域課題の解決の一助となったが、目標値を達成した年が1年のみとなったため。
66	高齢者就労指導センターの活用	一定数の参加はあったが、目標値達成が1年のみであったため。
74	新規就農者への支援	新規就農者への支援を実施したが、目標値達成は1年となったため。
81	農業者年金への女性農業者や若い農業者の加入の促進	戸別訪問により8名の農業者年金加入につながり、女性加入者はいなかったものの目標値を2年達成したため。

■【D】未達成の事業

No.	事業名	評価の理由
3	青少年女性センターでの男女共同参画事業の実施	計画期間中すべてで事業は実施したがすべてで目標値を達成できなかったため。
4	青少年女性センターとの連携	期間中すべてで数値目標を達成できなかったため。
5	市民大学校における男女共同参画関連講座の実施	コロナ禍中は動画による講座や、緩和後には調理に関する実習を再開したが目標値を達成できなかったため。
6	なるほど行政講座の中で男女平等に関連する情報の提供	申込件数が0であり目標値を達成できなかったため。
9	青少年国際交流の実施	計画期間中に事業を中止したため。
10	友好都市交流の実施	計画期間中に事業を中止したため。
16	工業団地見学ツアーの実施	計画期間中に事業を中止したため
17	企業経営者による講演会の実施	計画期間中に事業を中止したため
44	介護支援ボランティア制度の運用	期間中すべてで数値目標を達成できなかったため。
48	自治組織との連携・支援	補助金の交付を通じて自治組織の活動を継続的に支援し、地域活動の維持に一定の成果があったものの、すべての期間で目標値を達成できなかったため。
50	総合型地域スポーツクラブへの支援	活動支援を行い登録人数増加に取り組んだが、すべての期間で目標値を達成できなかったため。
51	スポーツ指導者の育成と参画促進	平成30年度より県で実施しているスポーツ指導者養成講座へ移行したが、令和4年度で終了したため、受講者の確保ができていないことにより目標値を達成できた年がなかったため。
86	市政懇談会への多様な参加の促進	市政懇談会は、市民または市長の希望により開催するため、目標値の達成が困難であった。
87	DV防止のための啓発・窓口周知	市広報、HPへの記事の掲載はできており、DVの未然防止や早期発見に資する講座を開催できており、一定数の参加は見られたが、目標値に達していないため。
99	人権に関する啓発の実施	学校からの依頼に基づき実施するものであるため、学校に働きかけたが目標値を達成できなかったため。

総括

計画期間全体としては、88事業で数値目標を達成したことから、本計画策定時に課題として捉えていた意識面、職業・労働面、DV対策等については、一定の効果があったと考えられます。

また、数値目標を達成できなかった事業の一部については、男女共同参画の進展に伴いニーズが減少した事業など、社会状況の好ましい変化が背景にあると考えられるものがあり、指標の達成には至らなかったものの、取組としては一定の成果があったものと考えられます。

令和7年度までの前計画では、取組内容と指標が十分に整合しておらず、取組の成果を適切に評価しにくい事業が見られました。

このことから、令和8年度からの現行計画では、評価において、取組内容と指標の整合性を確認し、必要に応じて見直しを行っていくことが必要です。